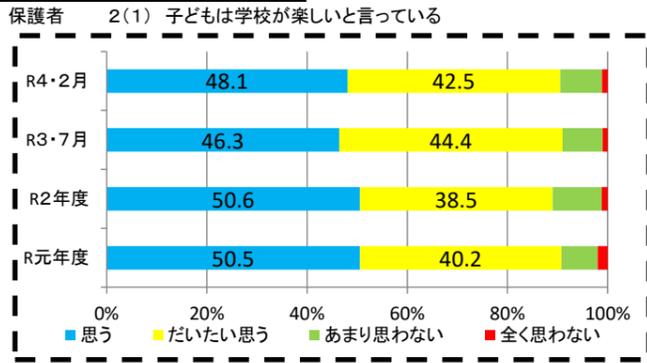


保護者の皆さんからいただいたアンケート結果です。

児童のアンケート結果です。

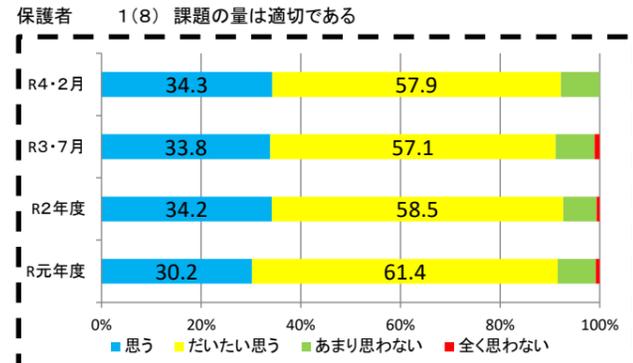
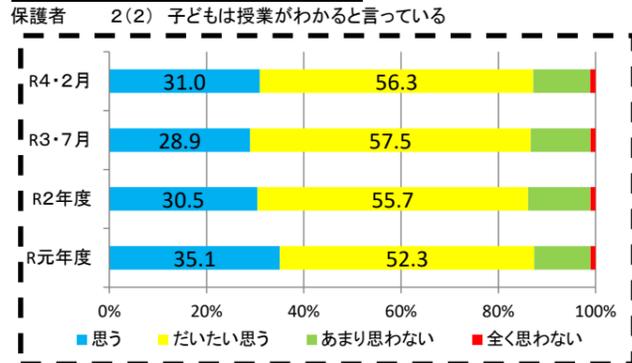
2月に実施したものと、前回7月、過去2年の年度末に実施したものをグラフに表しました。

指標「学校が楽しい」について



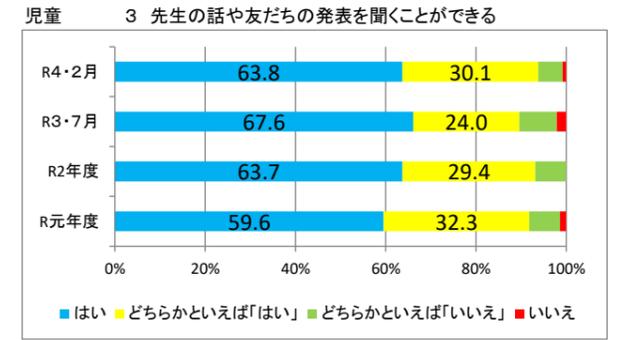
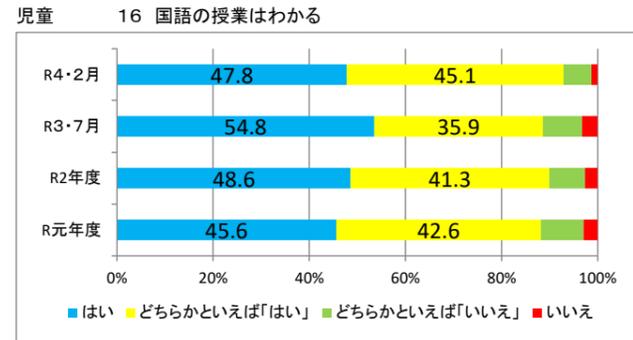
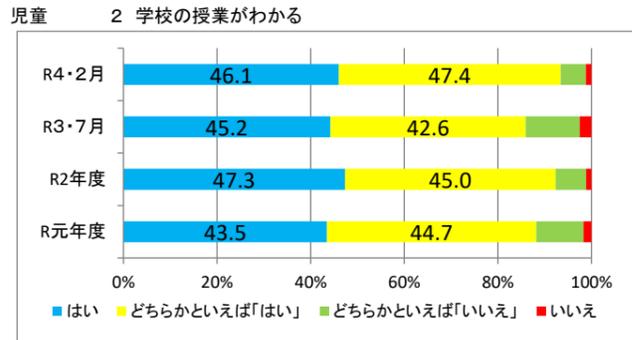
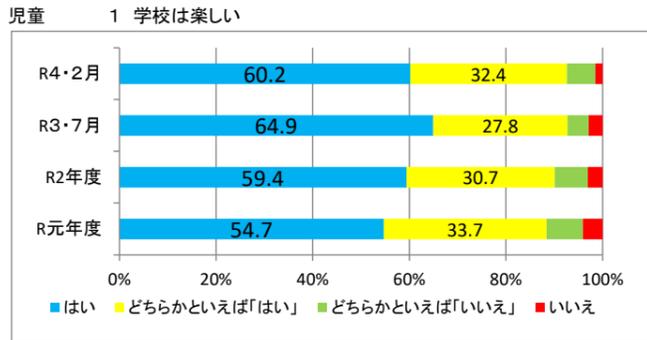
確かな学力の育成について

指標「授業がわかる」について



「学校は楽しい」について、児童にとって一日の大半を過ごす学校生活の充実が、保護者から信頼される学校である上で最重要事項であると考えます。「はい」と答えた児童が微減したことを真摯に受け止め、また、保護者には「楽しい」と言っている児童が微増しているため、今後も保護者の理解を得つつ、児童の指導に当たってまいります。

今年度も国語の授業の充実を図って研究を進めてきた。今後も「授業がわからない」と答える児童がいなくなるよう、一人一人が「わかった」「できた」という充実感が持てるようにしていきたい。



指標「音読に取り組んでいる」「漢字・計算チャレンジに取り組んでいる」について

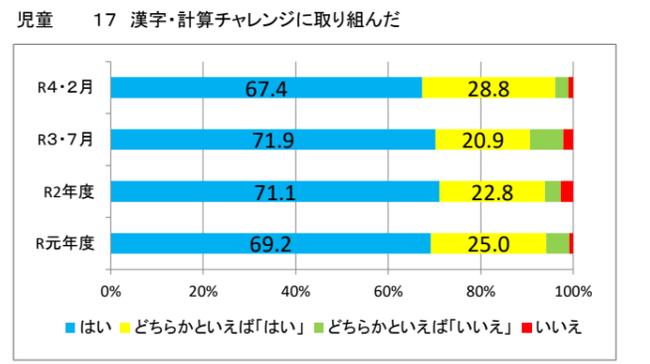
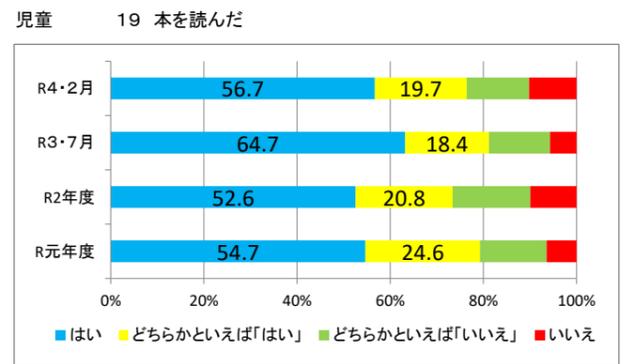
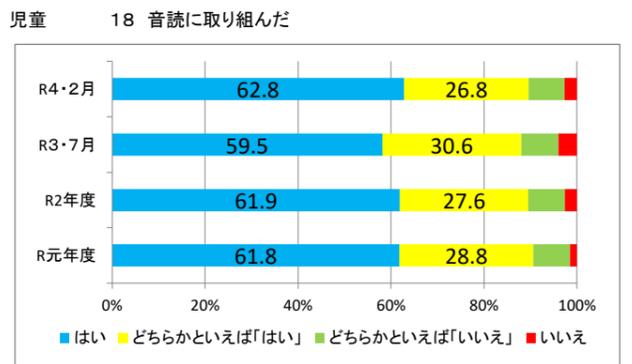
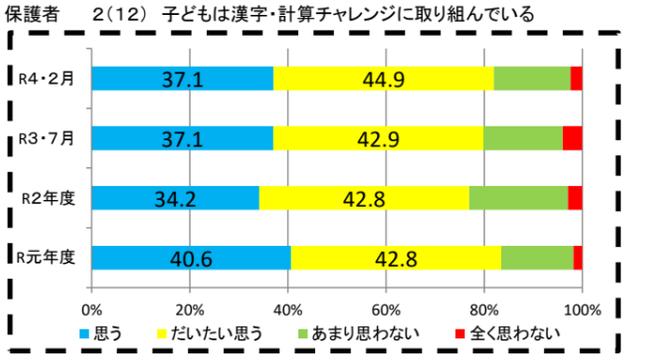
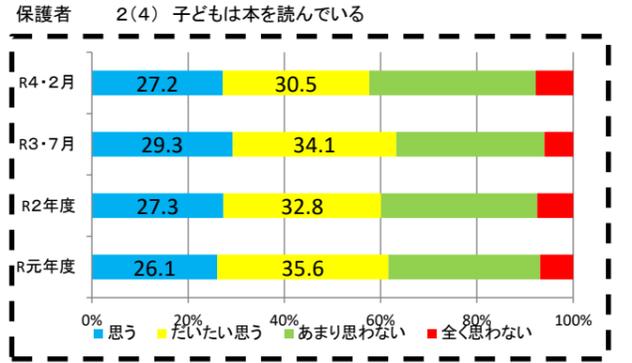
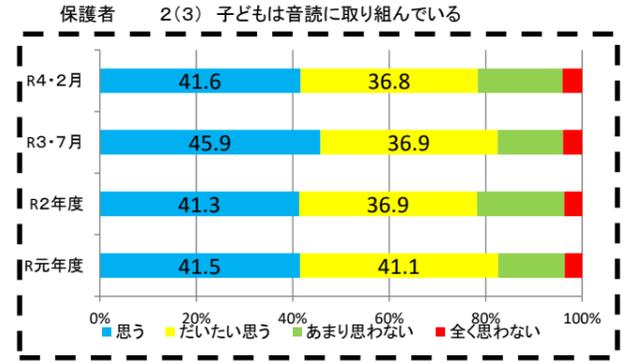
「音読に取り組んでいる」「漢字・計算チャレンジに取り組んでいる」について、例年同様に保護者・児童の回答に大きな開きがある。子どもの努力や頑張りが保護者からも認められよう、手立てを講じていきたい。

音読や読書、漢字や計算は、すべての学習の基本となる大切なことである。児童がそれらに、自主的・自発的に取り組むことができると、自ずと児童の学ぶ力も向上してくる。

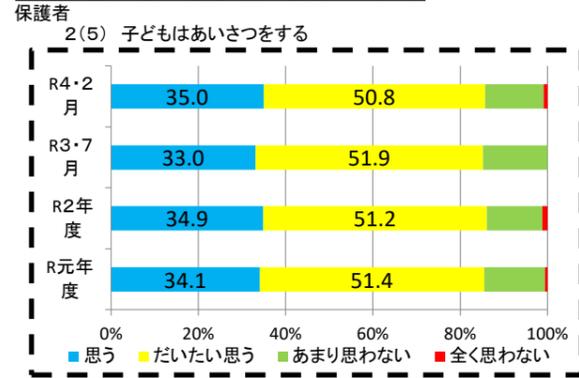
音読については、感染症予防のため、以前のように授業の中で多くの時間を割くことはできない。しかし、文章の内容を理解する、語彙を増やすといった音読の意義を再度確認し、今後も授業の中で可能な範囲で進めていきたい。

読書については、毎学期、読書週間を設けて落ち着いた読書活動を進めてきた。また、少しでも図書室・本に興味を持てるよう、委員会を中心にいろいろな取り組みをしてきた。今後も読書活動を推進し、図書館指導のさらなる充実を図り、児童が本に親しむことのできる環境を整えていきたい。

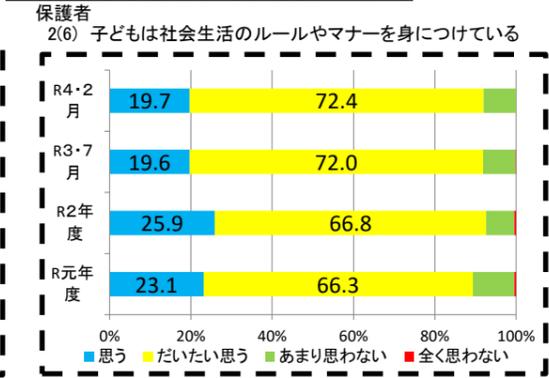
今後も家庭の協力を得ながら、日々の取り組み、家での読書、



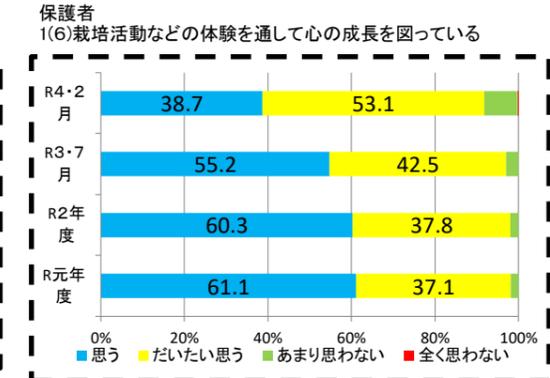
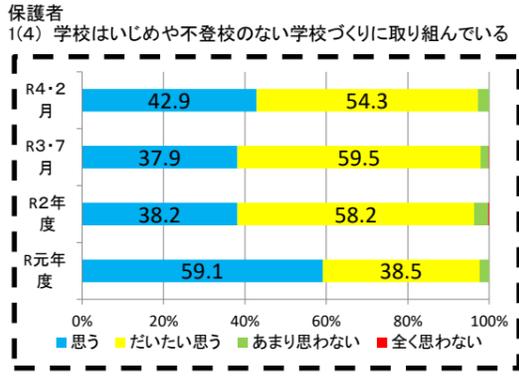
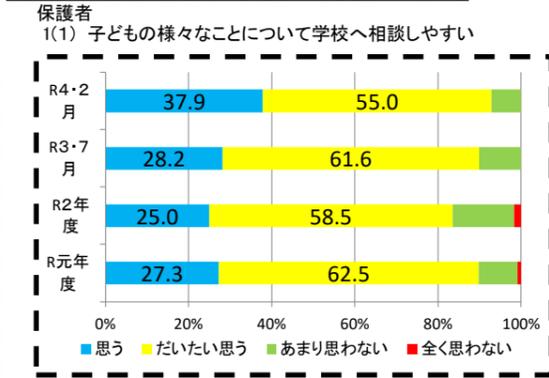
**豊かな心の育成について**  
**指標「あいさつをしている」について**



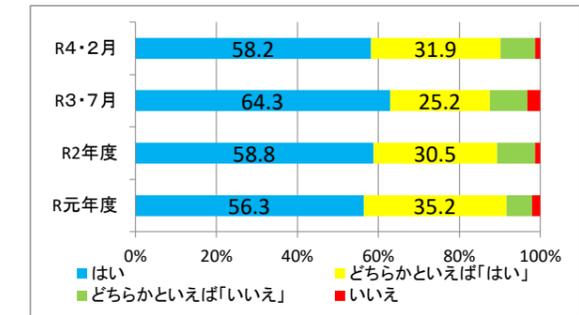
**指標「きまりを守っている」について**



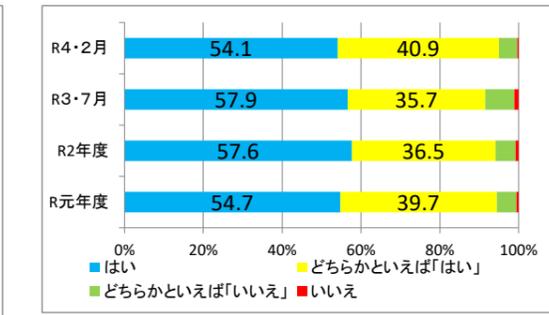
**指標「いじめのない学校づくり」について**



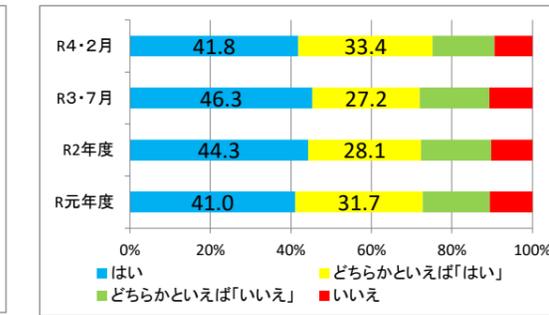
児童 11 家の人、先生や友達、地域の人にあいさつをしている



児童 12 学校のきまりを守っている



児童 13 悩みなどを相談できる先生がいる



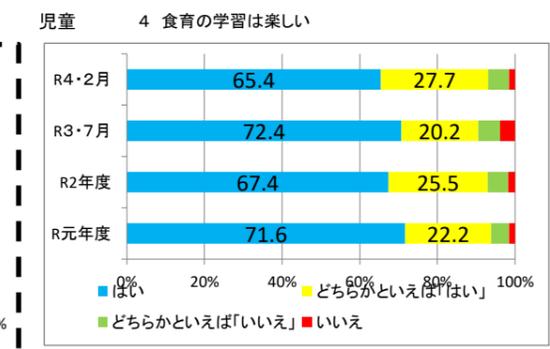
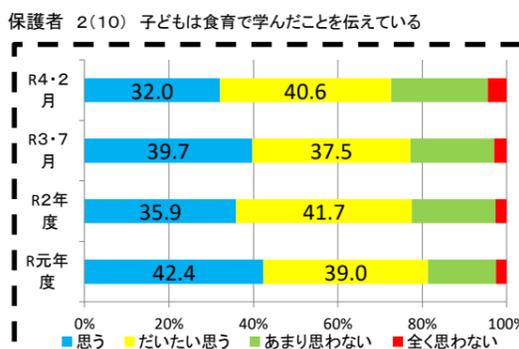
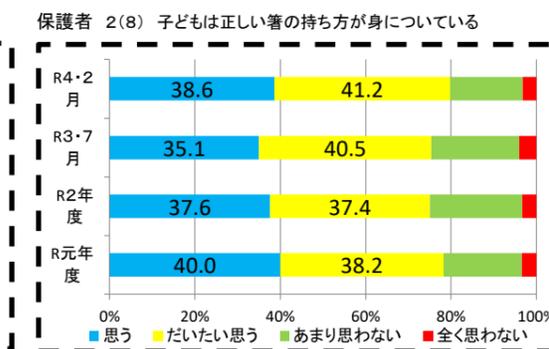
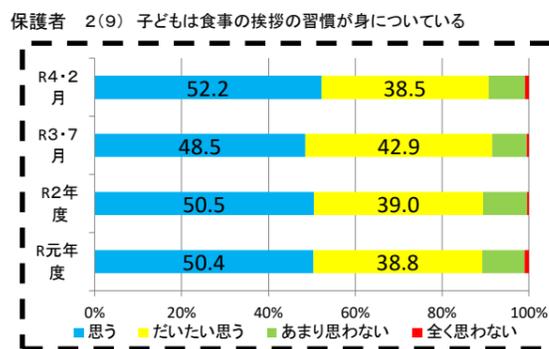
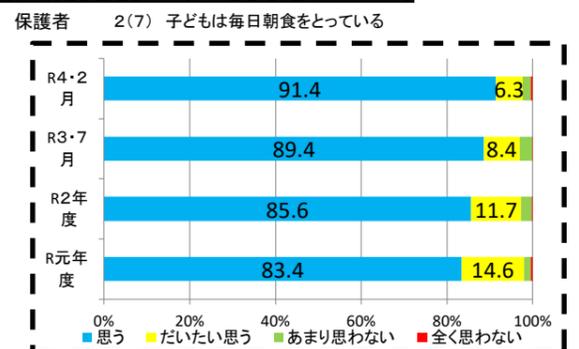
「あいさつをしている」について、昨年度同様、児童と保護者に大きな開きがある。本年度は、児童会役員や代表委員会・生活委員会が中心になってあいさつ運動を展開してきた。ただ、児童のあいさつはまだ不十分である。「自分から」「目を見て」あいさつできるよう、今後も家庭・地域の協力を得ながら進めていき

「きまりを守っている」についても、保護者と児童の回答に大きな開きがある。今後も、「なぜきまりがあるのか」「なぜ守らなければならないのか」を児童に理解させた上で指導をしていきたい。また、今後も、地域の中で子どもを育てていくという考えのもと、さまざまな場面で協力を得ていきたい。

「いじめのない学校づくり」について、保護の回答「はい」が増加した。今後も児童に寄り添い、児童から信頼される教職員を目指していきたい。また、特別の教科「道徳」の時間を充実させるだけでなく、相談活動の充実など学校生活全体で心の教育を進め、いじめのない学校づくりを目指していきたい。

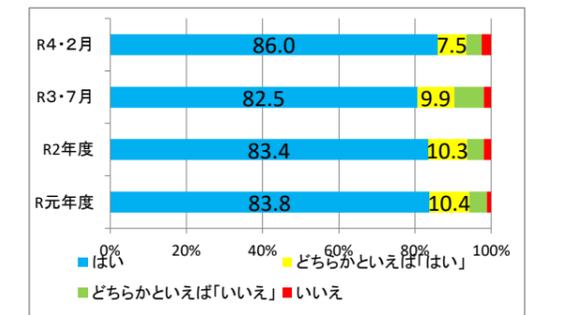
「食育」などの栽培収穫活動について、今年度で栽培収穫活動は終了した。今後、栽培収穫活動としての食育だけではなく、給食指導・栄養教諭による食育指導を通して、豊かな心の育成に努めていきたい。

**健やかなからだの育成について**  
**指標「朝食を食べている」などについて**

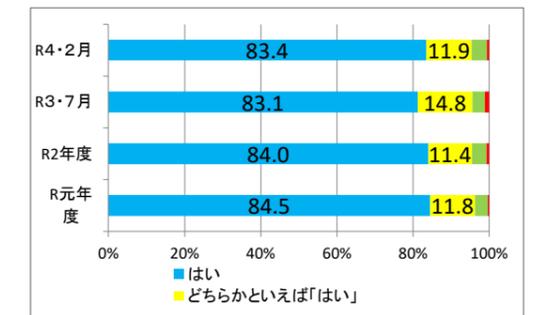


「朝食を食べている」「食事の挨拶」「マナー」などについて、今後も家庭の協力を得ながら、児童の健やかな体の育成を進めていきたい。

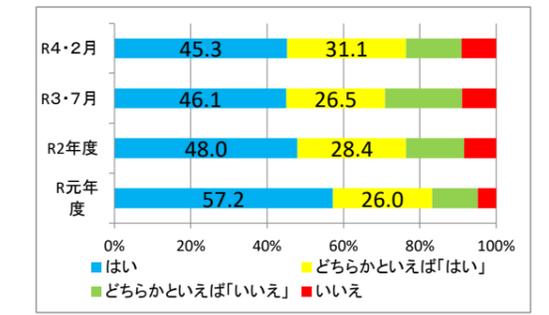
児童 5 朝食を毎日食べている



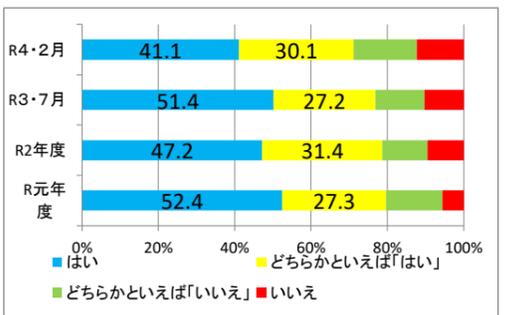
児童 7 「いただきます」「ごちそうさま」が言える



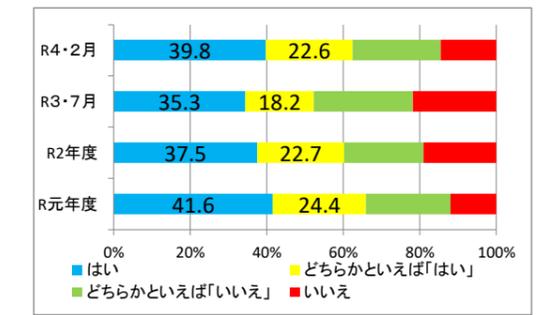
児童 6 給食を残さず食べている



児童 8 食育で学習したことを家族に伝えた



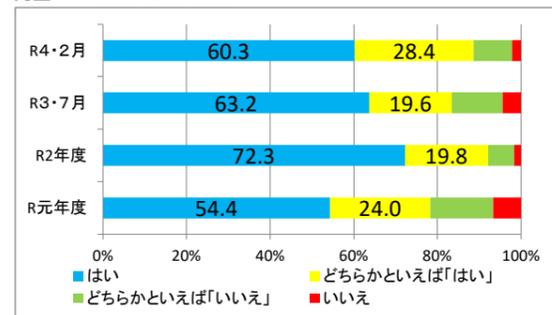
児童 9 放課は外で遊ぶ



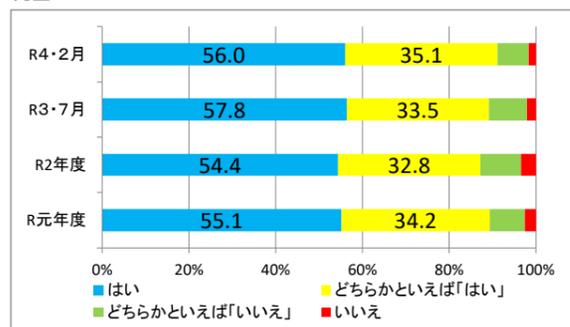
## 未来に生きる力の育成について

### 指標「英語の授業は楽しい」などについて

児童 20 英語の授業は楽しい



児童 10 節水や節電に心がけている

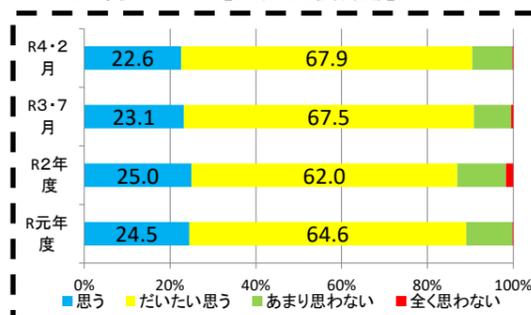


昨年度から外国語(英語)の授業は、3・4年生で週に1時間、5・6年生では週2時間の実施となっている。外国語の学習も中学校へ向けての大切な教科の一つである。今年度もALTと担任で協力しながら進めてきた。今後も、楽しさの中にも学びのある授業を行っていきけるよう、教師の授業力を高めていきたい。

「節水や節電に心がけている」では、9割程度の児童が「心がけている」で推移している。今後も、各教科の環境に関する単元や総合的な学習とも合わせて節水や節電にも努めていきたい。また、エコ活動(エコキャップ回収、資源回収)は継続して行っている。毎日の生活の中で、ちょっとしたエコ活動が意識できるよう、声をかけていきたい。

## 信頼される学校づくりについて

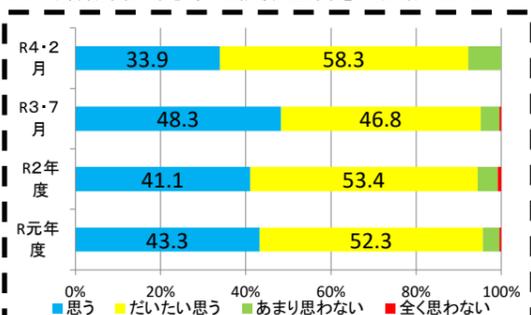
保護者 1(5) 学校は一人一人を大切に教育活動を進めている



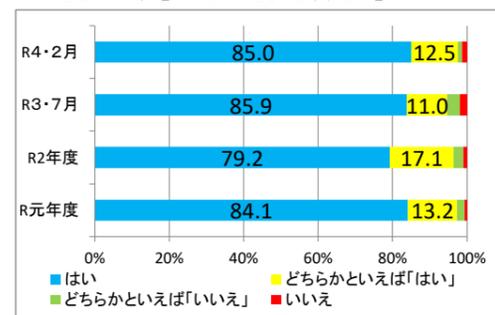
「学校は一人一人を大切に教育活動を進めている」について、これまで同様の評価をいただいた。今後、新型コロナウイルス感染症対策でどのような学校運営をしていくことができるか不透明な部分もあるが、保護者の意見に耳を傾け、行事の中身の精選や見直しを図り、よりよい教育活動・学校行事を進めていきたい。

## 指標「安全対策を適切に行っている」「知らない人に声をかけられたときにどうするか知っている」などについて

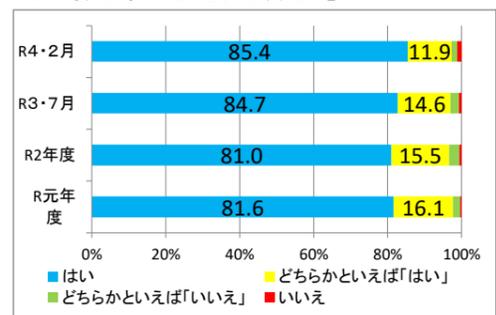
保護者 1(9) 不審者対策や緊急時の連絡等安全対策を適切に行っている



児童 14 知らない人に声をかけられたときにどうするか知っている



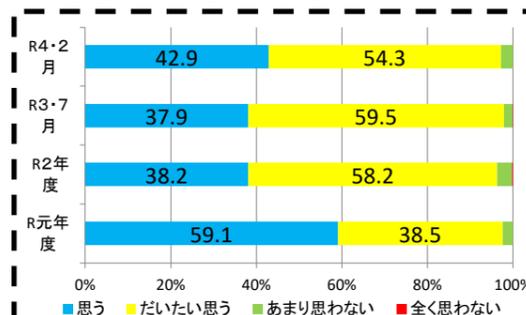
児童 15 地震や火事がおきたときにどうするか知っている



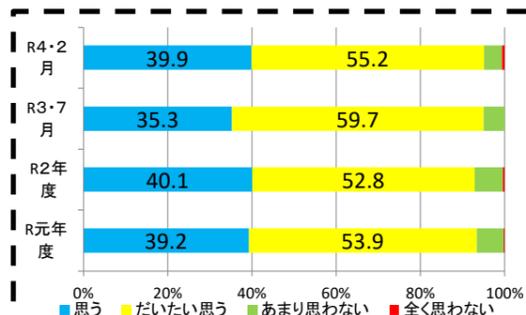
「安全対策を適切に行っている」「知らない人に声をかけられたときにどうするか知っている」について、昨年度と比べると「はい」の回答が微増してきている。児童の安全が学校運営上第一と考える。学校では日頃からさまざまな状況をシュミレートし、適切な対応が取れるようにしていきたい。具体的には、避難訓練の実施やK Y T (危険予知トレーニング) など、今後も継続的に実施していく。さらに、学校、家庭、地域で今後も協力し、児童の安全・防災意識を高めていきたい。

## 指標「子どもをよく理解している」などについて

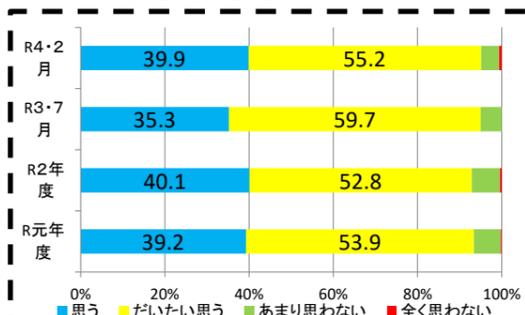
保護者 1(2) 学校は活動の様子を分かりやすく伝えている



保護者 1(7) 教職員は子どものよい点や努力したところを公平に評価している



保護者 1(11) 教職員は子どもをよく理解している



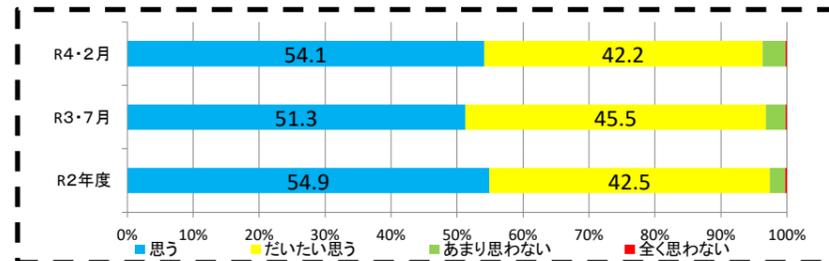
保護者 1(12) 教職員は社会人として挨拶や言葉遣い、服装が適切である



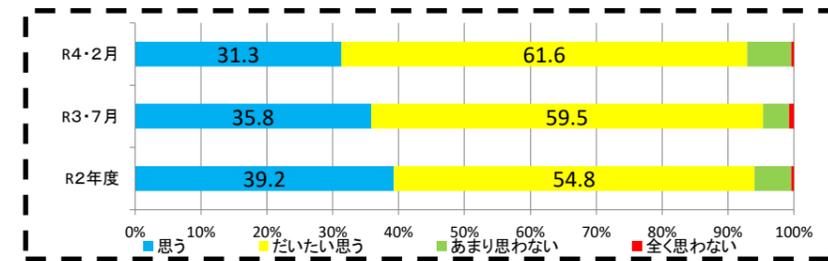
「子どもをよく理解している」について、本年度も多くの保護者の「思う」「だいたい思う」の回答を得ることができた。一方で「あまり思わない」「全く思わない」の回答もある。この回答もしっかりと受け止め、教育活動を進めていきたい。また、今後も学年通信や学校からのお便り、ホームページなどにより、家庭・地域に情報を伝えていきたい。

## 指標 感染症対策などについて

保護者 3 学校は、感染症予防対策を講じて学校行事を実施している(体育的行事や文化的行事、懇談会等)



保護者 10 学校の感染症対策は十分にできている



新型コロナウイルス感染症対策について、学校としても試行錯誤の2年であった。9割以上の保護者が「思う」「だいたい思う」と回答してくださったことについては大変ありがたいと思う。今後も感染症対策を行いながら、「できない」からやらないのではなく、「できること」を考えながら行っていきたい。